



なんでもインフォ

2024. 6月



Windows11 で登場した機能について

● はじめに

建築分野において最も広く使われていると思われるOSであるWindows。2021年の10月にWindows11が登場してからもうすぐ3年ですが、Windows 10 を使い続けている人は少なくありません。

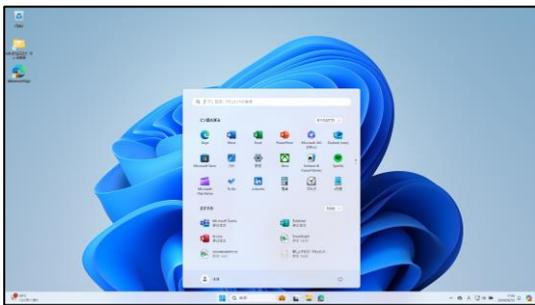
Windows10 を安全に使い続けられる期間には限りがあり(2025年10月14日まで)、そろそろWindows11への移行を検討したほうがよいでしょう。

そこで今回は移行対象のWindows11に登場した機能をほんの一部でご紹介します。

● スタートメニュー表示が変更

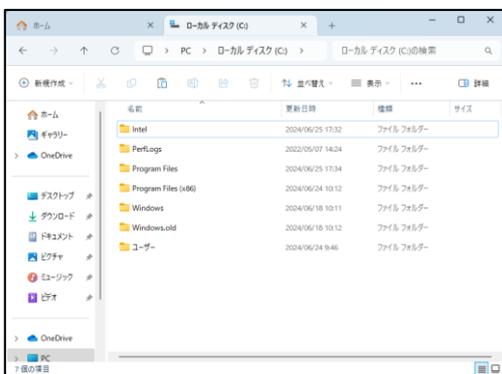
これまでのWindowsではスタートメニューが画面左下にありましたが、中央へと変更されました。以前の状態に慣れており、左下に変更したい場合は「設定」から変更することが可能です。

またスタートメニューのデザインも変わり、よく使うソフトなどをピン留めしてすぐに起動することができます。



● エクスプローラーがタブ表示に

エクスプローラーのタブ表示が可能になりました。これまでは複数のフォルダを開くと同じ数のウィンドウが表示されていましたが、Windows 11ではタブでフォルダを切り替えて表示することができます。



● 各種設定をクイック設定で設定可能に

各種機能に素早くアクセスできるクイック設定の機能が使用可能になりました。

設定項目を追加削除することも可能なため自分の好みに設定することができます。



● クリップボード履歴機能の強化

通常複数の要素をコピー＆ペーストするならば、その分、マウスを行ったり来たりさせてその操作を繰り返す必要があります。数回であれば我慢できますが、頻繁に行っていると手間がかかります。

クリップボード履歴機能を使用すると貼り付けるときに「Win+V」キーを押すことでクリップボードの履歴を表示でき、過去にコピーした履歴から、内容を選んで貼り付けられます。そのため、必要な情報をまとめてコピーしておき、後でペーストするという使用方法ができます。



● マルチディスプレイ機能の強化

これまではディスプレイを複数接続しそれぞれのディスプレイにウィンドウを配置したままスリープに入ると、復帰時にウィンドウの位置が変わってしまっていた。

Windows11では「モニターの接続に基づいてウィンドウの位置を記憶する」という設定をするとディスプレイを再接続した時にウィンドウを適切な状態で表示することができます。



● おわりに

Windowsを使用している以上、Windows11への移行は避けては通れません。ブラウザやエクセルなどのアプリで仕事をする際にも、OSとなるWindows11を使いこなしているかどうかで、業務効率が変わってくるため今回ご紹介した機能も含め有効活用していきましょう。

(発行) 株式会社 昭和土木設計 (岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4丁目1番23号 Tel 019-638-6834 Fax 019-638-6389)

弊社は道路・河川・橋梁等の計画・設計、BIM/CIM、i-Construction、GIS、ITソリューション等の業務を行っております。
"なんでもインフォ"のバックナンバーは <https://showacd.co.jp> をご覧ください。

※本文には、Windows11のスクリーンショット画面を使用しております。著作権侵害の意図はありません。